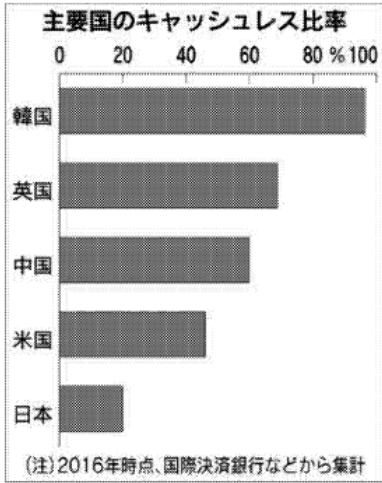


ワンポイント  
One Point

FinTech 20  
Vol.

PICK UP  
TOPICS



キャッシュレス銘柄は値動きが軽い

銘柄	昨年末比 上昇率	予想 PER
GMO-PG	34.0%	91.2倍
CTC	24.2	25.3
TIS	20.2	18.8
ウェルネット	14.5	48.6
大日印	10.5	27.3
LINE	9.5	—
アイリッジ	6.2	100
日経平均株価	5.6	12.2

(注)ーは赤字で算出できず

増税の逆風を順風に

2019年に入って世界で株高・債券高の適温相場の雰囲気が強まっているが、日本株は上値が重い。背景にあるのが10月に控える消費増税だ。マクロ景気への期待を持ちにくいなかで、消費増税という逆風をむしろ成長の糧にする銘柄探しが活発になっている。

日経平均株価が前日比4円安となった14日の東京市場。堅調さを保ったのがKDDIだ。12日に発表したスマートフォンを通じて決済や金融サービスを提供する「スマートマネー構想」が材料となり、前日比0.5%高と3日続伸した。市場でにぎわう「キャッシュレス社会」という投資テーマに結びついた格好だ。消費増税の対策としてポイント還元が目がいきがちだが、キャッシュレス推進

は市場が評価する成長戦略のひとつだ。経済産業省は18年4月に「キャッシュレス・ビジョン」という報告書を発表。現在19・8%と韓国(96%)や米国(46%)に劣るキャッシュレス比率を将来は80%にする意欲的な目標を掲げた。当初は目標だけで山は動かないとの見方が多かったが、人手不足と銀行によるATMの削減が背中を押し進んでいる。野村総合研究所によれば、ATMやレジ締め現金決済の社会コストは年1・6兆円。キャッシュレス店舗になれば、その分店員や人件費をサービス向上に振り向けることができる。これを生産性向上につなげようと政府も必死だ。安倍晋三首相は12日の衆院予算委員会ですが、電子決済・収納事業者に対して決済端末導入を支援し、負担をゼロにする。いちよしアセットマネジメンの秋野充成上席執行役員は「キャッシュレス

スクランブル

「キャッシュレス銘柄」に着目

ただキャッシュレス銘柄は先行投資段階の企業も多い。予想PER(株価収益率)は高く、GMOペイメントは91倍だ。ある銀行系運用会社のファンドマネジャーは「これまで割高で手がでなかったが、昨年末の株価下落局面で組み入れやすくなった」と話す。フィンテックファンドには、米国のスクエアやペイパルホールディングスなどのキャッシュレス企業をアップルやアマゾン・ドットコムよりも多く組み入れているケースもある。日本でも大化化する銘柄が出るか。投資家の選別眼が問われる。(関口慶太)

銘柄は19年を通じた息の長いテーマになる」と話す。GMOペイメントゲートウェイは上昇率が34%。キャッシュレス決済代行事業のほか、銀行口座と連動する決済サービスに「海外投資家の関心が高い」(同社幹部)。アセットマネジメントOneの岩谷渉平ファンドマネジャーは「社会の課題が大きいほど解決できる企業に価値がある」と投資の理由を説明する。

「公共電話がなくなったとティリサーチ・ヘッドは「公共電話がなくなったと」と指摘する。昨年未比の株価上昇率はシステム開発を手がける伊藤忠テクノソリューションズが24%、電子決済・収納代行のウェルネットが15%と日経平均(6%)を上回

日本経済新聞朝刊 2019年2月15日 ※赤線は弊社による

掲載銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当社ファンドにおける保有・非保有および将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

当資料は日本経済新聞社の承諾を得て記事を転載したものであり、記事の内容について、日興アセットマネジメントが正確性・完全性について保証するものではありません。また、記事に関する一切の権利は記事の提供元に帰属します。発行者の許可を得て掲載しています。コピー等はご遠慮ください。

○当資料は、日興アセットマネジメントが「フィンテック」についてお伝えすることなどを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する内容は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。○投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。